

# JAMの主張

## 社会的水準の賃金へ

### 次回、参議院選挙へ地道な活動を

機関紙 J A M 2016 年 8 月 25 日発行 第 211 号

#### 2016 年春季生活闘争

ベア 3 年目の取り組みとなった 2016 年春季生活闘争は、特に中小企業労働者や非正規労働者の賃上げに焦点が当てられ、多くの単組が 3 年連続で賃金引き上げを獲得。経済の好循環に一定の役割を果たすことができました。

J A M は結成以来、公正取引ルールの確立を訴え、ベアを要求した 3 年間は春季生活闘争での政策要求として取り組みを強化しました。公正取引ルール確立にむけて継続して取り組みを進めますが、「自らが生み出している付加価値が、現在どの程度か」、「月例賃金を社会的水準に引き上げ、一時金を確保するためには、どれだけ生産性を向上させて、付加価値を改善しなければならないのか」、という議論を労使間で促進していくことが求められます。

春季生活闘争では、年齢や職種などの銘柄による個別賃金を重視し、月例賃金の引き上げにこだわり、「賃金の社会性を重視」する取り組みを継続していくことが重要です。加えて、多様な働き方に対応した均等・均衡処遇をめざし、「同一価値労働同一賃金」の実現にも、積極的に取り組むことも重要な課題です。総合労働条件を改善するため、本部闘争委員会による「登録組合代表者会議」の開催など、運動の社会性を強めるための闘争体制の確立をはじめ、地方 J A M での「闘争委員会の機能強化」にむけた体制整備が求められます。併せて、中小労組が多く加盟している連合構成産別とも連携し、公正取引問題や企業規模間による格差是正問題など中小労使の共通した課題を、連合や産業界全体に広めていくことも重要な取り組みです。

#### 第 24 回参議院選挙

第 24 回参議院議員選挙では J A M 結成以来、維持し続けてきた国会議員の議席を失うことになりました。これは、J A M の政策活動、政治学習のあり方、さらには全国百五の地協を中心とした組織運営などの全ての面にわたり総点検し、謙虚に反省しなければならないということです。そのうえで「ものづくり産業で働く者」「生活者」というスタンスに立ち、産業政策や雇用・労働問題に対する明確なビジョンのもと、組合員との対話を重ねるなどして、改めて産業別組織としての信頼関係の構築と、J A M 運動への積極的参加にむけた地道な活動を展開しなければなりません。

中堅中小企業でも AI 等によるデジタル化が急速に進展するなど、産業構造が大きく変化している中で、個別企業労使では解決できない重要な政策課題への対応が、産別組織の役割・機能であることを踏まえれば、次の国政選挙にむけて真剣な議論を積み重ねていかなければ、組合員や社会からの負託に応える組織にはなり得ません。新たな挑戦にむけた議論をお願いします。